

# 感染症発生状況

平成30年11月7日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年10月29日（月）～11月2日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】295名 【職員】20名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】59名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数83名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（133名）、咳・鼻水（58名）、下痢・腹痛（27名）、嘔気・嘔吐（12名）

疾病別：手足口病（17名）、流行性角結膜炎（7名）、気管支炎・肺炎（5名）、溶連菌感染症（4名）、ヘルパンギーナ（4名）

【職員】症状：熱（7名）、下痢・腹痛（5名）、充血（2名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：流行性角結膜炎（4名）

**今週は引き続き手足口病、リンゴ病が発生しています。インフルエンザはわずかですが、注意が必要です。溶連菌感染症、突発性発疹症、ヘルパンギーナにも注意しましょう。**

## 【症状別の発生状況】

手足口病	盛南，河南，都南地域で減少。厨川地域で増加しました。
流行性角結膜炎	都南地域で減少。厨川地域で増加しました。
気管支炎・肺炎	厨川，盛南地域で減少。玉山地域で増加しました。
溶連菌感染症	厨川，盛南，都南地域で減少。河北地域で増加しました。
ヘルパンギーナ	河北地域で減少。玉山，厨川地域で増加しました。

## 【県の状況（10/22～10/28）】

感染性胃腸炎は、奥州地区で多くなっています。例年秋から冬にかけて流行し、ノロウイルス等による集団感染が増加するので注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗い、患者の吐物や便の適切な処理が重要です。

手足口病は、県央地区で、8月下旬に警報値（定点あたり患者数5人）を超えた以降、報告数の多い状況が続いています。年齢別では1～4歳が多くなっています。なお、盛岡市及び宮古地区もやや多くなっており、今後も注意が必要です。

インフルエンザは、盛岡市内の幼稚園から学年閉鎖措置の報告がありました。予防には、ワクチン接種や手洗いが重要です。ワクチンは接種から効果が現れるまでに2週間程度を要するため、早めの接種が勧められます。接種については、事前に医療機関へご確認ください。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会  
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】